

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約5年間（2014年1月24日～2019年1月17日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	資産成長コース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ-ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
運用方法	資産成長コース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券に分散投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
	通貨αコース	①主として、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を通じて、新興国の現地通貨建債券への分散投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 ②当ファンドは、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	資産成長コース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	通貨αコース	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド （資産成長コース／通貨αコース）

### 運用報告書（全体版）

資産成長コース	第7期（決算日 2017年7月18日）
	第36期（決算日 2017年2月17日）
	第37期（決算日 2017年3月17日）
	第38期（決算日 2017年4月17日）
通貨αコース	第39期（決算日 2017年5月17日）
	第40期（決算日 2017年6月19日）
	第41期（決算日 2017年7月18日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース）」は、さる7月18日に決算を行ないました。

ここに、当作成期間中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5620>

<5621>

資産成長コース

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
3期末(2015年7月17日)	円 11,018	円 10	% △ 1.9	11,024	% 0.0	% 1.0	% 96.6	百万円 3,546
4期末(2016年1月18日)	9,233	10	△ 16.1	9,052	△ 17.9	1.6	95.8	2,303
5期末(2016年7月19日)	9,233	10	0.1	9,641	6.5	0.5	96.1	1,861
6期末(2017年1月17日)	9,509	10	3.1	9,993	3.7	0.0	99.7	1,523
7期末(2017年7月18日)	10,101	10	6.3	10,979	9.9	—	98.9	1,346

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

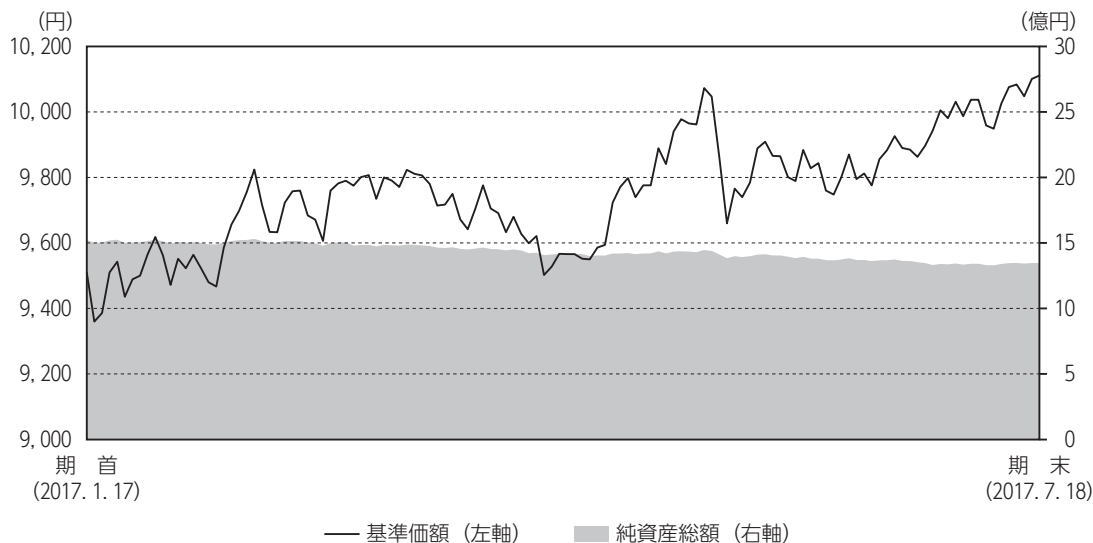
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,509円

期末：10,101円（分配金10円）

騰落率：6.3%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

投資している通貨が円に対して上昇したほか、債券の利息収入や価格の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首) 2017年 1月17日	9,509	—	9,993	—	0.0	99.7
1月末	9,563	0.6	10,119	1.3	0.0	99.4
2月末	9,671	1.7	10,282	2.9	0.0	99.2
3月末	9,776	2.8	10,537	5.5	—	99.7
4月末	9,740	2.4	10,454	4.6	0.0	99.7
5月末	9,801	3.1	10,605	6.1	0.0	99.1
6月末	10,031	5.5	10,818	8.3	0.0	99.2
(期末) 2017年 7月18日	10,111	6.3	10,979	9.9	—	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2017. 1. 18 ~ 2017. 7. 18)

### ■新興国債券市況

新興国債券市場では、米国のトランプ大統領の政策運営に対する不透明感が高まり保護主義への懸念が後退したことや、先進国の金融政策をめぐる思惑、また個別国要因が相場を動かす材料となりました。

#### ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、憲法改正の国民投票後は政治的不透明感が後退し、中長期の金利が低下しました。南アフリカでは、短期の金利は低下した一方で、政治をめぐる懸念から長期の金利は上昇しました。当ファンドで組み入れを始めた2017年2月上旬以降のロシアでは、インフレ率の鈍化傾向から金利は低下しました。ポーランドでは、当ファンドで組み入れていた期首から2月上旬まで、金利は一進一退の推移となりました。

#### ・ アジア地域

インドネシアやタイでは金利は低下基調になり、マレーシアでは中長期の金利が低下しました。

#### ・ 中南米地域

ブラジルでは、インフレ率の鈍化傾向と政策金利の引き下げから金利は低下しました。メキシコでは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから金利は低下しました。ペルーでは、政策金利が引き下げられる中、金利は低下しました。

### ■為替相場

対円為替相場は、米国の政策運営に対する不透明感の高まりが円高要因となる一方で、世界的に景気が安定した推移となったことが新興国通貨への需要につながり、多くの通貨が対円で上昇しました。

#### ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラや南アフリカ・ランド、当ファンドで組み入れていた期首から2017年2月上旬までのポーランド・ズロチは対円で上昇した一方で、当ファンドで組み入れを始めた2月上旬以降のロシア・ルーブルは、対欧米での関係改善期待が後退したこともあり、ほぼ横ばいとなりました。

#### ・ アジア地域

マレーシア・リングギットやタイ・バーツはそれぞれ対円で上昇した一方、インドネシア・ルピアは円高の影響から下落しました。

・中南米地域

ブラジル・レアルは、政治をめぐる混乱が下落要因となり対円で下落しました。メキシコ・ペソは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから上昇しました。ペルー・ソルについても他の新興国通貨と同様に対円で上昇しました。

## 前期における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ポートフォリオについて

(2017. 1. 18 ~ 2017. 7. 18)

### ■当ファンド

期を通じてエマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。

- ・ 欧州・中東・アフリカ地域においては、期中にポーランド・ズロチからロシア・ルーブルへの通貨の入れ替えを行ない、期末ではトルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブルに投資を行ないました。また、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングgit、タイ・バーツ、中南米地域ではブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルへ投資しました。
- ・ 債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1.0（年）程度～3.0（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。

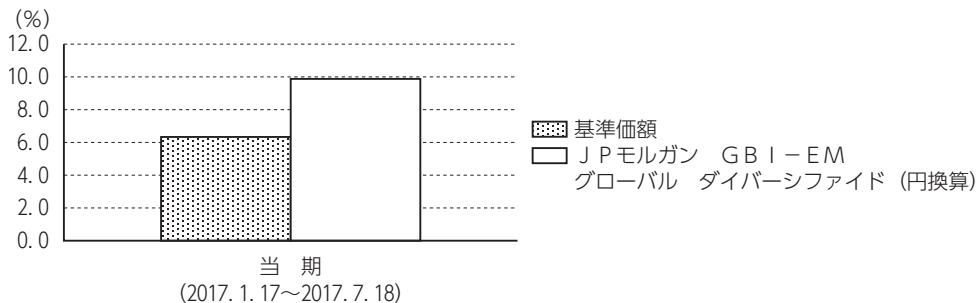
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は10円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年1月18日 ～2017年7月18日	
当期分配金（税込み）（円）		10
対基準価額比率（％）		0.10
当期の収益（円）		10
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		2,454

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。  
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。  
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	295.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	36.02
(d) 分配準備積立金	2,133.36
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	2,464.38
(f) 分配金	10.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	2,454.38

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマーシング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ■ エマーシング・ボンド・ファンド（資産成長クラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

### ■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 1. 18～2017. 7. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	56円	0.579%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,758円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.404)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	57	0.583	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）

### ■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2017年1月18日から2017年7月18日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 560.892	千円 46,897	千口 3,376.023	千円 282,100

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2017年1月18日から2017年7月18日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS (ケイマン諸島)					3,376.023	282,100	83

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

#### (1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

#### (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2017年1月18日から2017年7月18日まで)

区 分	当 期			期 末		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 191,365	百万円 32,280	% 16.9	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	7,306,312	—	—	—	—	—
現先取引 (その他有価証券)	124,999	—	—	124,999	—	—

(注) 平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

#### (3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

### ■組入資産明細表

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CAPITAL GROWTH CLASS	千口 15,589.493	千円 1,331,670	% 98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 33	千口 33	千円 34	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年7月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,331,670	% 98.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	34	0.0
コール・ローン等、その他	27,778	2.0
投資信託財産総額	1,359,483	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年7月18日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,362,583,244円</b>
コール・ローン等	24,678,754
投資信託受益証券（評価額）	1,331,670,162
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	34,329
未収入金	6,199,999
<b>(B) 負債</b>	<b>15,813,797</b>
未払金	3,100,000
未払収益分配金	1,333,303
未払解約金	3,014,400
未払信託報酬	8,308,211
その他未払費用	57,883
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>1,346,769,447</b>
元本	1,333,303,222
次期繰越損益金	13,466,225
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,333,303,222口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	10,101円

\*期首における元本額は1,602,168,574円、当期中における追加設定元本額は714,062円、同解約元本額は269,579,414円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は10,101円です。

■損益の状況

当期 自2017年1月18日 至2017年7月18日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>43,433,530円</b>
受取配当金	43,436,555
支払利息	△ 3,025
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>45,162,048</b>
売買益	48,588,260
売買損	△ 3,426,212
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>8,366,137</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>80,229,441</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>69,559,893</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>4,129,980</b>
（配当等相当額）	（ 4,802,929）
（売買損益相当額）	（△ 672,949）
<b>(G) 合計（D+E+F）</b>	<b>14,799,528</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 1,333,303</b>
次期繰越損益金（G+H）	13,466,225
追加信託差損益金	4,129,980
（配当等相当額）	（ 4,802,929）
（売買損益相当額）	（△ 672,949）
分配準備積立金	322,441,546
繰越損益金	△ 313,105,301

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	39,332,450円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	4,802,929
(d) 分配準備積立金	284,442,399
(e) 当期分配対象額（a+b+c+d）	328,577,778
(f) 分配金	1,333,303
(g) 翌期繰越分配対象額（e-f）	327,244,475
(h) 受益権総口数	1,333,303,222口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	10円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は7月18日現在の基準価額（1万口当り10,101円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期末(2015年2月17日)	9,650	100	△ 0.9	11,005	△ 0.1	0.5	98.6	20,381
13期末(2015年3月17日)	9,336	100	△ 2.2	10,562	△ 4.0	0.6	96.6	18,518
14期末(2015年4月17日)	9,302	100	0.7	10,907	3.3	0.6	97.2	17,530
15期末(2015年5月18日)	9,283	100	0.9	11,155	2.3	0.7	98.0	16,732
16期末(2015年6月17日)	9,152	100	△ 0.3	10,933	△ 2.0	0.7	97.7	15,834
17期末(2015年7月17日)	9,091	100	0.4	11,024	0.8	0.9	97.5	15,230
18期末(2015年8月17日)	8,726	100	△ 2.9	10,492	△ 4.8	0.9	96.5	13,917
19期末(2015年9月17日)	8,068	100	△ 6.4	9,749	△ 7.1	1.1	96.1	12,146
20期末(2015年10月19日)	8,103	80	1.4	10,089	3.5	1.0	95.9	11,299
21期末(2015年11月17日)	8,061	80	0.5	10,030	△ 0.6	1.0	97.0	10,457
22期末(2015年12月17日)	7,828	80	△ 1.9	9,675	△ 3.5	1.3	96.4	9,717
23期末(2016年1月18日)	7,323	80	△ 5.4	9,052	△ 6.4	1.7	96.1	8,648
24期末(2016年2月17日)	7,266	80	0.3	9,158	1.2	1.6	96.9	8,316
25期末(2016年3月17日)	7,377	80	2.6	9,425	2.9	0.2	96.6	8,159
26期末(2016年4月18日)	7,317	80	0.3	9,591	1.8	—	97.3	7,821
27期末(2016年5月17日)	7,116	80	△ 1.7	9,494	△ 1.0	1.2	96.9	7,423
28期末(2016年6月17日)	6,761	80	△ 3.9	9,071	△ 4.4	2.0	96.7	6,665
29期末(2016年7月19日)	6,949	80	4.0	9,641	6.3	0.5	96.7	6,609
30期末(2016年8月17日)	6,763	80	△ 1.5	9,453	△ 1.9	1.0	96.2	6,215
31期末(2016年9月20日)	6,609	80	△ 1.1	9,353	△ 1.1	0.1	96.2	5,826
32期末(2016年10月17日)	6,674	80	2.2	9,589	2.5	0.2	95.9	5,566
33期末(2016年11月17日)	6,578	80	△ 0.2	9,357	△ 2.4	1.1	95.9	5,221
34期末(2016年12月19日)	6,805	80	4.7	10,103	8.0	0.3	95.6	5,127
35期末(2017年1月17日)	6,658	80	△ 1.0	9,993	△ 1.1	0.0	99.8	4,886
36期末(2017年2月17日)	6,703	80	1.9	10,316	3.2	0.0	99.6	4,827
37期末(2017年3月17日)	6,691	80	1.0	10,474	1.5	0.0	99.6	4,690
38期末(2017年4月17日)	6,477	80	△ 2.0	10,120	△ 3.4	0.0	99.5	4,320
39期末(2017年5月17日)	6,661	80	4.1	10,803	6.7	0.0	99.3	4,295
40期末(2017年6月19日)	6,498	80	△ 1.2	10,752	△ 0.5	0.0	98.0	3,989
41期末(2017年7月18日)	6,533	80	1.8	10,979	2.1	—	98.0	3,825

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

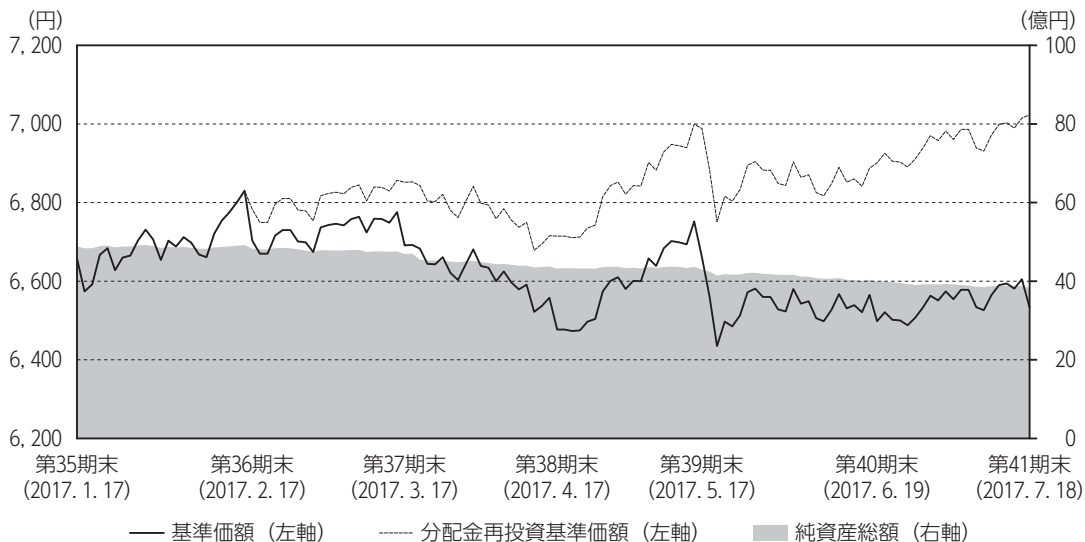
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### ■ 基準価額・騰落率

第36期首：6,658円

第41期末：6,533円（既払分配金480円）

騰落率：5.5%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の変動要因

投資している通貨が円に対して上昇したことや通貨オプション取引によるプレミアム収入、および債券の利息収入や価格の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

	年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第36期	(期首)2017年 1月17日	円 6,658	% —	9,993	% —	% 0.0	% 99.8
	1月末	6,706	0.7	10,119	1.3	0.0	99.5
	(期末)2017年 2月17日	6,783	1.9	10,316	3.2	0.0	99.6
第37期	(期首)2017年 2月17日	6,703	—	10,316	—	0.0	99.6
	2月末	6,699	△ 0.1	10,282	△ 0.3	0.0	99.5
	(期末)2017年 3月17日	6,771	1.0	10,474	1.5	0.0	99.6
第38期	(期首)2017年 3月17日	6,691	—	10,474	—	0.0	99.6
	3月末	6,681	△ 0.1	10,537	0.6	—	99.5
	(期末)2017年 4月17日	6,557	△ 2.0	10,120	△ 3.4	0.0	99.5
第39期	(期首)2017年 4月17日	6,477	—	10,120	—	0.0	99.5
	4月末	6,580	1.6	10,454	3.3	0.0	99.5
	(期末)2017年 5月17日	6,741	4.1	10,803	6.7	0.0	99.3
第40期	(期首)2017年 5月17日	6,661	—	10,803	—	0.0	99.3
	5月末	6,528	△ 2.0	10,605	△ 1.8	0.0	99.4
	(期末)2017年 6月19日	6,578	△ 1.2	10,752	△ 0.5	0.0	98.0
第41期	(期首)2017年 6月19日	6,498	—	10,752	—	0.0	98.0
	6月末	6,574	1.2	10,818	0.6	0.0	98.6
	(期末)2017年 7月18日	6,613	1.8	10,979	2.1	—	98.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

### ■新興国債券市況

新興国債券市場では、米国のトランプ大統領の政策運営に対する不透明感が高まり保護主義への懸念が後退したことや、先進国の金融政策をめぐる思惑、また個別国要因が相場を動かす材料となりました。

#### ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、憲法改正の国民投票後は政治的不透明感が後退し、中長期の金利が低下しました。南アフリカでは、短期の金利は低下した一方で、政治をめぐる懸念から長期の金利は上昇しました。当ファンドで組み入れを始めた2017年2月上旬以降のロシアでは、インフレ率の鈍化傾向から金利は低下しました。ポーランドでは、当ファンドで組み入れていた第36期首から2月上旬まで、金利は一進一退の推移となりました。

#### ・ アジア地域

インドネシアやタイでは金利は低下基調になり、マレーシアでは中長期の金利が低下しました。

#### ・ 中南米地域

ブラジルでは、インフレ率の鈍化傾向と政策金利の引き下げから金利は低下しました。メキシコでは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから金利は低下しました。ペルーでは、政策金利が引き下げられる中、金利は低下しました。

### ■為替相場

対円為替相場は、米国の政策運営に対する不透明感の高まりが円高要因となる一方で、世界的に景気が安定した推移となったことが新興国通貨への需要につながり、多くの通貨が対円で上昇しました。

#### ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラや南アフリカ・ランド、当ファンドで組み入れていた第36期首から2017年2月上旬までのポーランド・ズロチは対円で上昇した一方で、当ファンドで組み入れを始めた2月上旬以降のロシア・ルーブルは、対欧米での関係改善期待が後退したこともあり、ほぼ横ばいとなりました。

#### ・ アジア地域

マレーシア・リングgitやタイ・バーツはそれぞれ対円で上昇した一方、インドネシア・ルピアは円高の影響から下落しました。



・中南米地域

ブラジル・レアルは、政治をめぐる混乱が下落要因となり対円で下落しました。メキシコ・ペソは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから上昇しました。ペルー・ソルについても他の新興国通貨と同様に対円で上昇しました。

■為替ボラティリティ相場

新興国通貨の対円ボラティリティは、一部の通貨を除いておおむね低下しました。世界的に景気が安定した推移となったことなどを背景に、多くの通貨の対円ボラティリティは低下傾向での推移となりました。しかし、ブラジル・レアルのボラティリティは政治的な混乱等を背景に上昇しました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」（以下「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」といいます。）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

### ■当ファンド

当作成期間を通じてエマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

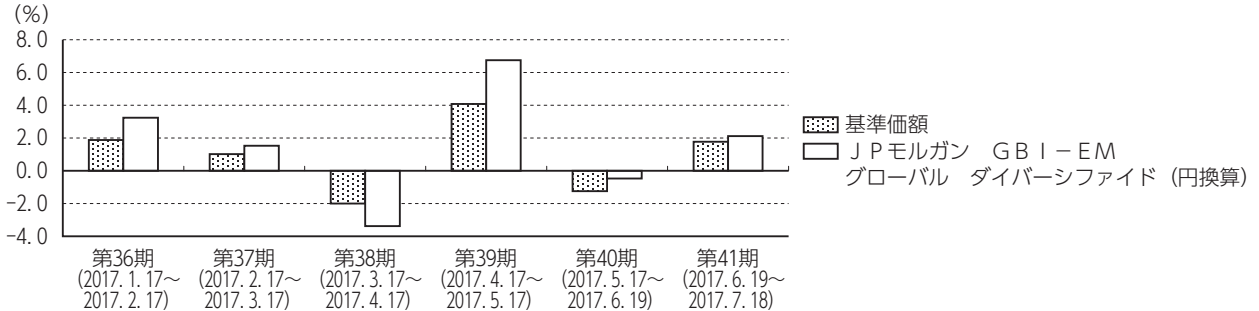
- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、当作成期間中にポーランド・ズロチからロシア・ルーブルへの通貨の入れ替えを行ない、第41期末ではトルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ロシア・ルーブルに投資を行ないました。また、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リンギット、タイ・バーツ、中南米地域ではブラジル・リアル、メキシコ・ペソ、ペルー・ソルへ投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1.0（年）程度～3.0（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、主に現地通貨建国債からなるポートフォリオ構成としました。
- ・通貨カバードコール戦略（新興国通貨それぞれについて、円に対する当該新興国通貨のコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略）を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

第36期から第41期の1万口当り分配金 (税込み) はそれぞれ80円といたしました。  
収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程 (1万口当り)」をご参照ください。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
	2017年1月18日 ~2017年2月17日	2017年2月18日 ~2017年3月17日	2017年3月18日 ~2017年4月17日	2017年4月18日 ~2017年5月17日	2017年5月18日 ~2017年6月19日	2017年6月20日 ~2017年7月18日
当期分配金 (税込み) (円)	80	80	80	80	80	80
対基準価額比率 (%)	1.18	1.18	1.22	1.19	1.22	1.21
当期の収益 (円)	76	74	80	77	75	76
当期の収益以外 (円)	3	5	—	2	4	3
翌期繰越分配対象額 (円)	201	195	198	195	190	186

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金 (税込み) に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
(a) 経費控除後の配当等収益	76.48円	74.15円	82.71円	77.36円	75.01円	76.28円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	18.02	19.08	19.52	20.01	20.54	20.98
(d) 分配準備積立金	186.50	182.09	175.80	178.04	174.89	169.47
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	281.01	275.33	278.05	275.41	270.45	266.73
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	201.01	195.33	198.05	195.41	190.45	186.73

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ■エマージング・ボンド・ファンド（通貨αクラス）

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざします。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第36期～第41期 (2017. 1. 18～2017. 7. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	38円	0. 577%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は6, 620円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0. 161)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0. 403)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	4	0. 065	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託受益証券)	(4)	(0. 065)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	43	0. 646	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）

### ■売買および取引の状況 投資信託受益証券

（2017年1月18日から2017年7月18日まで）

決算期	第36期～第41期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 （邦貨建）	5,836,329	375,721	22,236,699	1,432,828

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

（2017年1月18日から2017年7月18日まで）

第36期～第41期				第36期～第41期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	□数	金額	円	銘柄	□数	金額	円
	千口	千円			千口	千円	
EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS（ケイマン諸島）	754,722	48,900	64	EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS（ケイマン諸島）	22,236,699	1,432,828	64

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

#### (1) 当ファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

当作成期間（第36期～第41期）中における利害関係人との取引はありません。

#### (2) ダイワ・マネー・マザーファンドにおける当作成期間中の利害関係人との取引状況

（2017年1月18日から2017年7月18日まで）

決算期	第36期～第41期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況 B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況 D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	191,365	32,280	16.9	—	—	—
コール・ローン	7,306,312	—	—	—	—	—
現先取引（ その他有価証券）	124,999	—	—	124,999	—	—

（注）平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

#### (3) 当作成期間中における売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期間（第36期～第41期）中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期間における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 41 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) EMERGING LOCAL MARKET BOND FUND CURRENCY ALPHA CLASS	58,447.679	3,750,178	98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2017年7月18日現在

項 目	第 41 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,750,178	96.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	0.0
コール・ローン等、その他	151,684	3.9
投資信託財産総額	3,901,960	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第35期末	第 41 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	96	96	98

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年2月17日)、(2017年3月17日)、(2017年4月17日)、(2017年5月17日)、(2017年6月19日)、(2017年7月18日)現在

項 目	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末	第41期末
<b>(A) 資産</b>	<b>4,905,118,292円</b>	<b>4,785,971,741円</b>	<b>4,378,289,990円</b>	<b>4,411,408,343円</b>	<b>4,088,079,164円</b>	<b>3,937,988,614円</b>
コール・ローン等	77,315,924	77,304,350	81,246,958	109,442,653	108,538,977	115,656,491
投資信託受益証券 (評価額)	4,809,939,858	4,673,439,680	4,296,944,930	4,266,338,788	3,910,580,096	3,750,178,441
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	98,111	98,111	98,102	98,102	98,092	98,082
未収入金	17,764,399	35,129,600	—	35,528,800	68,861,999	72,055,600
<b>(B) 負債</b>	<b>77,824,963</b>	<b>95,157,220</b>	<b>57,886,527</b>	<b>115,801,209</b>	<b>98,803,105</b>	<b>112,278,122</b>
未払金	8,882,200	17,564,800	—	17,764,400	34,431,000	36,027,800
未払収益分配金	57,611,868	56,083,307	53,358,986	51,590,113	49,115,741	46,850,459
未払解約金	6,489,446	17,177,704	—	42,183,586	10,766,775	25,618,081
未払信託報酬	4,807,917	4,268,113	4,433,303	4,140,023	4,336,282	3,603,348
その他未払費用	33,532	63,296	94,238	123,087	153,307	178,434
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>4,827,293,329</b>	<b>4,690,814,521</b>	<b>4,320,403,463</b>	<b>4,295,607,134</b>	<b>3,989,276,059</b>	<b>3,825,710,492</b>
元本	7,201,483,573	7,010,413,444	6,669,873,281	6,448,764,149	6,139,467,711	5,856,307,498
次期繰越損益金	△ 2,374,190,244	△ 2,319,598,923	△ 2,349,469,818	△ 2,153,157,015	△ 2,150,191,652	△ 2,030,597,006
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>7,201,483,573口</b>	<b>7,010,413,444口</b>	<b>6,669,873,281口</b>	<b>6,448,764,149口</b>	<b>6,139,467,711口</b>	<b>5,856,307,498口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	6,703円	6,691円	6,477円	6,661円	6,498円	6,533円

\*第35期末における元本額は7,338,433,163円、当作成期間(第36期~第41期)中における追加設定元本額は127,797,143円、同解約元本額は1,609,922,808円です。

\*第41期末の計算口数当りの純資産額は6,533円です。

\*第41期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,030,597,006円です。

# ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)

## ■損益の状況

項 目	第36期 自 2017年 1月18日 至 2017年 2月17日 第37期 自 2017年 2月18日 至 2017年 3月17日	第37期 自 2017年 3月18日 至 2017年 4月17日 第38期 自 2017年 4月18日 至 2017年 5月17日	第38期 自 2017年 3月18日 至 2017年 4月17日 第39期 自 2017年 4月18日 至 2017年 5月17日	第39期 自 2017年 5月18日 至 2017年 6月19日 第40期 自 2017年 6月20日 至 2017年 7月18日	第40期 自 2017年 5月18日 至 2017年 6月19日 第41期 自 2017年 6月20日 至 2017年 7月18日	第41期 自 2017年 6月20日 至 2017年 7月18日
(A) 配当等収益	58,043,265円	56,285,896円	59,636,206円	51,113,926円	50,421,397円	47,082,088円
受取配当金	58,044,069	56,286,906	59,638,710	51,115,694	50,423,781	47,085,288
受取利息	4	8	28	14	6	23
その他収益金	—	—	—	—	265	—
支払利息	△ 808	△ 1,018	△ 2,532	△ 1,782	△ 2,655	△ 3,223
(B) 有価証券売買損益	36,720,130	△ 4,364,091	△ 144,360,324	123,066,870	△ 97,199,992	23,820,121
売買益	37,312,781	371,357	1,405,209	125,264,906	4,976,976	24,120,088
売買損	△ 592,651	△ 4,735,448	△ 145,765,533	△ 2,198,036	△ 102,176,968	△ 299,967
(C) 信託報酬等	△ 4,841,449	△ 4,297,877	△ 4,464,245	△ 4,168,956	△ 4,366,514	△ 3,628,475
(D) 当期損益金 (A + B + C)	89,921,946	47,623,928	△ 89,188,363	170,011,840	△ 51,145,109	67,273,734
(E) 前期繰越損益金	△ 2,301,620,698	△ 2,198,365,604	△ 2,094,363,344	△ 2,156,885,761	△ 1,935,041,805	△ 1,936,401,215
(F) 追加信託差損益金	△ 104,879,624	△ 112,773,940	△ 112,559,125	△ 114,692,981	△ 114,888,997	△ 114,619,066
(配当等相当額)	( 12,983,662)	( 13,377,574)	( 13,022,419)	( 12,904,463)	( 12,612,694)	( 12,289,535)
(売買損益相当額)	(△ 117,863,286)	(△ 126,151,514)	(△ 125,581,544)	(△ 127,597,444)	(△ 127,501,691)	(△ 126,908,601)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,316,578,376	△ 2,263,515,616	△ 2,296,110,832	△ 2,101,566,902	△ 2,101,075,911	△ 1,983,746,547
(H) 収益分配金	△ 57,611,868	△ 56,083,307	△ 53,358,986	△ 51,590,113	△ 49,115,741	△ 46,850,459
次期繰越損益金 (G + H)	△ 2,374,190,244	△ 2,319,598,923	△ 2,349,469,818	△ 2,153,157,015	△ 2,150,191,652	△ 2,030,597,006
追加信託差損益金	△ 104,879,624	△ 112,773,940	△ 112,559,125	△ 114,692,981	△ 114,888,997	△ 114,619,066
(配当等相当額)	( 12,983,662)	( 13,377,574)	( 13,022,419)	( 12,904,463)	( 12,612,694)	( 12,289,535)
(売買損益相当額)	(△ 117,863,286)	(△ 126,151,514)	(△ 125,581,544)	(△ 127,597,444)	(△ 127,501,691)	(△ 126,908,601)
分配準備積立金	131,774,297	123,559,374	119,075,658	113,115,978	104,316,135	97,069,420
繰越損益金	△ 2,401,084,917	△ 2,330,384,357	△ 2,355,986,351	△ 2,151,580,012	△ 2,139,618,790	△ 2,013,047,360

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
(a) 経費控除後の配当等収益	55,077,876円	51,988,018円	55,171,959円	49,890,336円	46,054,882円	44,672,780円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	12,983,662	13,377,574	13,022,419	12,904,463	12,612,694	12,289,535
(d) 分配準備積立金	134,308,289	127,654,663	117,262,685	114,815,755	107,376,994	99,247,099
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	202,369,827	193,020,255	185,457,063	177,610,554	166,044,570	156,209,414
(f) 分配金	57,611,868	56,083,307	53,358,986	51,590,113	49,115,741	46,850,459
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	144,757,959	136,936,948	132,098,077	126,020,441	116,928,829	109,358,955
(h) 受益権総口数	7,201,483,573口	7,010,413,444口	6,669,873,281口	6,448,764,149口	6,139,467,711口	5,856,307,498口



収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
	80円	80円	80円	80円	80円	80円
(単 価)	(6, 703円)	(6, 691円)	(6, 477円)	(6, 661円)	(6, 498円)	(6, 533円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－  
ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド  
資産成長クラス／通貨αクラス

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース／通貨αコース））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・エマージング・ローカル・マーケット・ボンド・ファンド 資産成長クラス／通貨αクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2017年7月18日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

財政状態計算書

2016年5月31日

資産

金融資産（損益通算後の評価額）	\$	78,253,061
現金および現金同等物		1,554,070
未収：		
売却済み証券		1,186,459
利息		1,167,654
資産合計		<u>82,161,244</u>

負債

金融負債（損益通算後の評価額）		371,186
未払：		
受益証券の買戻し		697,895
購入済み証券		603,655
保管会社報酬		59,600
報酬代行会社報酬		26,384
副投資運用会社報酬		21,342
管理会社報酬		18,773
専門家報酬		18,300
名義書換代理人報酬		3,340
負債（償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）		<u>1,820,475</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産	\$	<u>80,340,769</u>

包括利益計算書

2016年5月31日に終了した年度

収益

受取利息	\$	6,326,667
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純実現損失		(15,286,652)
外国為替取引による純実現損失		(294,922)
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による評価益の純変動		4,930,154
外国為替換算による評価益の純変動益		25,903
損失合計		<u>(4,298,850)</u>

費用

副投資運用会社報酬		329,836
報酬代行会社報酬		202,313
保管会社報酬		187,960
管理会社報酬		63,992
名義書換代理人報酬		11,966
専門家報酬		1,189
登録料		282
費用合計		<u>797,538</u>

金融費用控除前営業損失

(5,096,388)

金融費用

償却可能受益証券の保有者への分配		<u>(15,843,387)</u>
------------------	--	---------------------

分配後および税引前損失

(20,939,775)

源泉徴収税		(478,538)
-------	--	-----------

業務活動の結果生じた償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の減少額

\$ (21,418,313)

投資明細  
2016年5月31日

債券

ブラジル

NOTA DO TESO 10% 01/01/18/BRL/	\$	2,782,595.78
NOTA DO TESO 10% 01/01/21/BRL/		3,693,687.40
LETRA TESOUR ZCP 07/01/17/BRL/		2,329,058.08
ブラジル計		8,805,341.26

インドネシア

INDONESIA 7.375% 09/15/16/IDR/		1,837,613.47
INDONESIA 7.875% 04/15/19/IDR/		6,517,250.37
インドネシア計		8,354,863.84

マレーシア

MALAYSIAN 4.24% 2/7/18 SERIES		494,700.41
MALAYSIA 4.262% 09/15/16/MYR/		4,619,517.07
MALAYSIA 4.012% 09/15/17/MYR/		1,227,247.52
MALAYSIA 4.378% 11/29/19/MYR/		2,499,857.11
マレーシア計		8,841,322.11

メキシコ

MEX BONOS 7.25% 12/15/16/MXN/		2,759,228.72
MEX BONOS 6.25% 06/16/16/MXN/		2,719,056.25
PETROLEOS 7.65% 11/24/21/MXN/		3,129,967.42
メキシコ計		8,608,252.39

オランダ

BK NEDERLAN 0.5% 06/22/16/TRY/		4,713,579.18
オランダ計		4,713,579.18

ペルー

PERU BONO SOB 8.6% 8/12/17		8,854,258.21
ペルー計		8,854,258.21

ポーランド

POLAND GOVERN 4% 10/25/23/PLN/		546,835.19
POLAND GOVE 2.5% 07/25/18/PLN/		3,870,415.68
POLAND GOVER ZCP 07/25/16/PLN/		2,783,083.81
POLAND GOVE 1.5% 04/25/20/PLN/		1,736,077.74
ポーランド計		8,936,412.42

南アフリカ	
REPUBLIC O 8.25% 09/15/17/ZAR/	2,549,237.03
REPUBLIC O 7.25% 01/15/20/ZAR/	2,183,621.57
REPUBLIC O 13.5% 09/15/16/ZAR/	1,291,442.01
南アフリカ計	<u>6,024,300.61</u>
スウェーデン	
SWEDISH EXP 5.5% 03/27/18/TRY/	1,561,143.77
スウェーデン計	<u>1,561,143.77</u>
タイ	
THAILAND G 3.25% 06/16/17/THB/	5,411,843.53
THAILAND 3.875% 06/13/19/THB/	3,565,261.30
タイ計	<u>8,977,104.83</u>
トルコ	
TURKEY GOVERN 8% 03/12/25/TRY/	1,366,015.62
TURKEY GOVE 9.4% 07/08/20/TRY/	1,347,720.77
トルコ計	<u>2,713,736.39</u>
英国	
IFFIM 6.1% 09/29/16/ZAR/	2,199,430.00
英国計	<u>2,199,430.00</u>
債券計	<u>78,589,745.01</u>

## ダイワ・マネー・マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（ダイワ新興国ソブリン債券ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2016年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2017年7月18日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を29ページに併せて掲載いたしました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

(2017年1月18日から2017年7月18日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
645 国庫短期証券 2017/2/20	27,570,641		
657 国庫短期証券 2017/4/17	17,880,344		
642 国庫短期証券 2017/2/6	17,230,250		
652 国庫短期証券 2017/3/27	16,550,132		
659 国庫短期証券 2017/4/24	16,270,410		
669 国庫短期証券 2017/6/12	15,870,490		
651 国庫短期証券 2017/3/21	13,160,344		
644 国庫短期証券 2017/5/12	11,970,533		
648 国庫短期証券 2017/3/6	7,370,272		
649 国庫短期証券 2017/3/13	7,230,340		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

下記は、2017年7月18日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（67,081,643千円）の内容です。

#### 国内その他有価証券

	2017年7月18日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	999,999 千円	<1.5> %

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第12期 (決算日 2016年12月9日)

(計算期間 2015年12月10日～2016年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの第12期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行いません。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A - 2 格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の30%以下

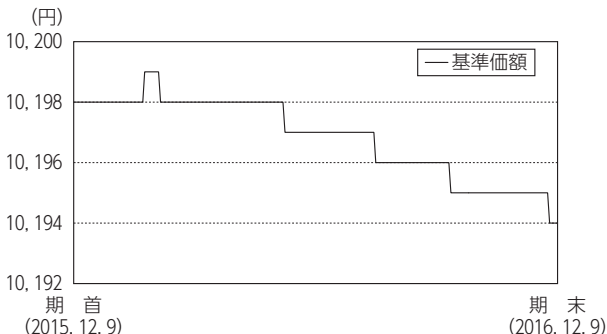
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,198円 期末：10,194円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

期首より、日銀は量的・質的金融緩和を継続し、2016年1月にはマイナス金利付き量的・質的金融緩和の導入を、9月には長短金利操作付き量的・質的金融緩和の導入を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利は低下しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なっております。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

年月日	基準価額		公社債組入比率
	円	%	
(期首)2015年12月9日	10,198	—	55.2
12月末	10,198	0.0	52.1
2016年1月末	10,198	0.0	94.1
2月末	10,198	0.0	50.0
3月末	10,198	0.0	—
4月末	10,198	0.0	3.3
5月末	10,197	△ 0.0	0.1
6月末	10,197	△ 0.0	1.6
7月末	10,196	△ 0.0	19.1
8月末	10,196	△ 0.0	44.5
9月末	10,195	△ 0.0	25.5
10月末	10,195	△ 0.0	3.4
11月末	10,195	△ 0.0	26.7
(期末)2016年12月9日	10,194	△ 0.0	30.1

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめぐって安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 ( 0)
合計	0

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。



■売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国	内	千円	千円
国	債	285,828,471	11,349,138
			( 297,450,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国	内	千円	千円
国	内	17,999,984	16,999,986

- (注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2015年12月10日から2016年12月9日まで)

		当 期	
		買 付	売 付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
613 国庫短期証券 2016/9/12	27,280,379	567 国庫短期証券 2016/2/8	4,999,980
591 国庫短期証券 2016/5/30	24,330,973	566 国庫短期証券 2016/2/1	2,999,991
611 国庫短期証券 2016/9/5	19,330,584	342 2年国債 0.1% 2016/7/15	2,095,779
601 国庫短期証券 2016/7/19	19,020,392	100 5年国債 0.3% 2016/9/20	1,253,387
629 国庫短期証券 2016/11/28	14,720,456		
596 国庫短期証券 2016/6/20	14,390,312		
632 国庫短期証券 2016/12/12	14,020,490		
588 国庫短期証券 2016/5/16	12,500,147		
609 国庫短期証券 2016/8/22	10,870,238		
610 国庫短期証券 2016/8/29	10,390,257		

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当 期			末			
	額面金額	評価額	組入比率	うちB B格以下組入比率	残存期間別組入比率		
区 分					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	20,580,000	20,580,364	30.1	—	—	—	30.1

- (注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。  
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。  
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	年 利 率	当 期		末	
			額面金額	評価額	償還年月日	
		%	千円	千円		
国債証券	632 国庫短期証券	—	14,020,000	14,020,113	2016/12/12	
	634 国庫短期証券	—	2,010,000	2,010,039	2016/12/19	
	635 国庫短期証券	—	4,550,000	4,550,211	2016/12/26	
合計	銘柄数	3銘柄				
	金額		20,580,000	20,580,364		

- (注) 単位未満は切捨て。

(3) 国内その他有価証券

	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
国内短期社債等	999,999	<1.5>

- (注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年12月9日現在

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	20,580,364	27.2
その他有価証券	999,999	1.3
コール・ローン等、その他	53,984,185	71.4
投資信託財産総額	75,564,549	100.0

- (注) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年12月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>75,564,549,239円</b>
コール・ローン等	53,983,440,401
公社債（評価額）	20,580,364,994
現先取引（その他有価証券）	999,999,178
その他未収収益	744,666
<b>(B) 負債</b>	<b>7,294,738,200</b>
未払金	1,800,034,200
未払解約金	5,494,704,000
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>68,269,811,039</b>
元本	66,967,614,984
次期繰越損益金	1,302,196,055
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>66,967,614,984口</b>
<b>1万口当り基準価額（C／D）</b>	<b>10,194円</b>

\* 期首における元本額は77,361,886,547円、当期中における追加設定元本額は229,319,669,570円、同解約元本額は239,713,941,133円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ F E グローバル・バリュー（為替ヘッジあり）98,069円、ダイワ F E グローバル・バリュー（為替ヘッジなし）98,069円、ダイワ / "RICI"® コモディティ・ファンド8,952,508円、U S 債券 N B 戦略ファンド（為替ヘッジあり / 年1回決算型）740,564円、U S 債券 N B 戦略ファンド（為替ヘッジなし / 年1回決算型）1,623,350円、スマート・アロケーション・Dガード1,987,559円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、N B ストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、堅実バランスファンダー・ハジメの一步-129,891,397円、D C ダイワ・マネー・ポートフォリオ 2,529,071,704円、ダイワファンダラップ コモディティセレクト317,088,630円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-日本円・コース（毎月分配型）132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-豪ドル・コース（毎月分配型）643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-米ドル・コース（毎月分配型）12,784円、ダイワ / フィデリティ北米株式ファンド-パラダイムシフト-29,484,934円、(適格機関投資家専用) スマート・シックス・Dガード495,850,899円、ブルベア・マネー・ポートフォリオ IV 21,858,178,543円、ブル3倍日本株ポートフォリオ IV 34,413,293,504円、ベア2倍日本株ポートフォリオ IV 6,512,563,667円、ダイワ F E グローバル・バリュー株ファンド（ダイワ S M A 専用）4,090,590円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）98,290,744円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）23,590,527円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）米ドル・コース（毎月分配型）2,163,360円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）13,761,552円、ダイワ / アムンディ食糧増産関連ファンド4,974,315円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ197,896,688円、ダイワ新興国ハイインカム・プラスII-金積立型-501,660円、ダイワ新興国ハイインカム債券ファンド（償還条項付き）為替ヘッジあり1,004,378円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）49,082,149円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）196,290,094円、ダイワ・ダブルバランス・ファンド（Dガード付 / 部分為替ヘッジあり）27,494,856円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命-（為替ヘッジあり）988,283円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命-（為替ヘッジなし）4,926,018円、ダイワ米国 M L P ファンド（毎月分配型）米ドルコース13,732,222円、ダイワ米国 M L P ファンド（毎月分配型）日本円コース3,874,449円、ダイワ米国 M L P ファンド（毎月分配型）通貨αコース13,437,960円、ダイワ英国高配当株ツインα（毎月分配型）98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ1,724,477円、D C スマート・アロケーション・Dガード95,147

円、ダイワ・世界コモディティ・ファンド（ダイワ S M A 専用）274,626円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）98,252円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）2,554,212円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,178,976円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）-トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース（毎月分配型）98,174円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,194円です。

## ■損益の状況

当期 自2015年12月10日 至2016年12月9日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 17,198,883円</b>
受取利息	△ 3,050,070
その他収益金	744,666
支払利息	△ 14,893,479
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 1,077,368</b>
売買益	242,421
売買損	△ 1,319,789
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 139,970</b>
<b>(D) 当期損益金（A+B+C）</b>	<b>△ 18,416,221</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>1,530,291,621</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 4,723,800,173</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>4,514,120,828</b>
<b>(H) 合計（D+E+F+G）</b>	<b>1,302,196,055</b>
<b>次期繰越損益金（H）</b>	<b>1,302,196,055</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。